

2月の政治・経済イベント

重要 01 米バイデン政権の新型コロナウイルス対策等を巡る政策運営

1月20日にバイデン大統領が就任し、新政権は総額1兆9,000億米ドルの新型コロナウイルス対策を打ち出しました。民主・共和両党議員との協議が進められていますが、共和党側は全体の規模が大きすぎるとの懸念を示しています。議会上・下院の両党の議席数は拮抗し、一部の共和党議員からの支持が得られない限り、新型コロナウイルス対策に限らず、バイデン政権は打ち出した政策をスムーズに実現することが難しくなるでしょう。

重要 02 新型コロナウイルスの感染とワクチン接種の状況

新型コロナウイルス対策で活動制限が強化されたことなどから主要国の感染拡大ペースは鈍化してきたようです。ただ、感染力の高い変異種の感染が多くの国に広がる懸念もあり、制限措置を早期に解除できるかどうかは不透明です。一方、欧米諸国等で新型コロナウイルスに対するワクチンの接種が始まりましたが、計画より接種が遅れがちの国もあり、今後、接種のペースが加速するかどうか注目されます。

重要 03 春節前後の中国の景気動向

中国経済はコロナ禍による景気悪化からいち早く立ち直り、世界経済の回復を先導することが期待されています。中国は2月11日から17日まで春節（旧正月）の休暇に入ります。通常は帰省や旅行で人々の大移動が起こりますが、政府は感染再拡大を懸念して帰省や旅行を避けることを呼びかけています。人々が移動を抑えることが景気に悪影響を及ぼすのか、帰省や旅行の代わりにネットショッピングなどによって消費財支出が増えるのか、注目されます。

2月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(月)	米国 	ISM (サプライマネジメント協会) 製造業景況感指数 (1月)
2日(火)	ユーロ圏 	10-12月期GDP (速報値)
5日(金)	米国 	雇用統計 (1月)
11~17日	中国 	春節休暇
15日(月)	日本 	10-12月期GDP (1次速報値)
17日(水)	米国 	小売売上高、鉱工業生産指数 (1月)
25日(木)	ユーロ圏 	欧州委員会ユーロ圏景況感指数 (2月)
26日(金)	日本 	鉱工業生産指数、小売売上高、住宅着工件数 (1月)
26日(金)	米国 	個人所得、個人消費支出、個人消費支出デフレーター (1月)
2月中	米国 	予算教書、大統領経済報告発表

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
(出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。